

おたけ

20cmでも
あなだれない!!



白石1丁目の大竹保育所の玄関に貼られた「津波等浸水深シール」。
浸水深とは、洪水や地震による津波などで、市街地や家屋などが
浸水したときの深さのことです。そんな大きな災害が起きたとき、
この建物は最大で約20cmつかると想定しています。たった
20cmかと思われるかもしれませんが、思わぬ強さの水圧がかか
り、子どもや高齢者にとっては、ふらついて歩くことは困難だとい
われています。そのようなところで転倒してしまうと、命の危険に
さらされることにもなりかねません。自分の身を守るためにもこ
うした情報を知っておくことも必要です。【関連記事 28 ページ】